

雪がた

豊科病院広報誌

令和元年 9月 5日 発行

発行者 豊科病院広報文化委員会
〒399-8205

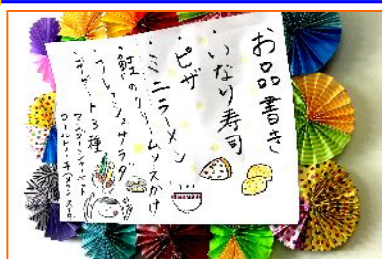
長野県安曇野市豊科5777-1

Tel:0263-72-8400

URL <http://www.shironishi.or.jp/>

豊科病院の理念

自他を問わず人間を愛し、慈しむ心を礎に、病める人、障害を持つ人、悩める人に常に自分の家族に接するように優しく接し、最良の医療・福祉サービスを提供し、地域の人々の要求及び個別的な要求にも応え、地域で人々が快適に生活できるような支援を行う。



この企画は、①外食がなかなかできない入院患者さんに、少しでも食を楽しんでいただきたい。②入院中は決められた食事をされるだけなので、ビュッフェ形式で患者さん自らが料理を選択する力を養っていただきたい。③地域生活の前に、能動的に食事をしていただきたい。という目的により、多職種連携のもと2年ぶりの復活開催となりました。

両病棟ともにビュッフェ形式で、テーブルクロスを敷き、それぞれのテーブルに名前やメ



ニュー表を添えるなど、レストランの雰囲気になぞくよう試みました。2階の病棟ではカツ丼、寿司、鮭のクリームソースかけ、ミニうどんorミニラーメン、サラダ、デザート3種、3階の病棟ではカレー、いなり寿司、鮭のクリームソースかけ、ミニラーメン、サラダ、デザート3種といったメニュー。サラダにかけるドレッシングは3種類の中から選べる形式です。

また、デザートでは患者さんの希望を一部取り入れ、まるでホテルのスイーツバイキングのようでした。

病棟バイキング復活

〜お楽しみ献立で食を楽しむ〜



は、彩り甘酢粥、やわらかアイディッシュ鯉のクリームソースかけ、れんこんの煮付け、サラダ、ミニトマトゼリー、プリン、ロールケーキアイスムースを松花堂弁当に詰めて召し上がっていました。

患者の皆さんは食欲旺盛で、麺類やデザートをおかわりされる方が多く、夢中で召し上がっていました。特にデザート類はどれにしようか迷われながらも選ぶ楽しさがあり、笑顔が多くみられました。皆さんに感想をお聞きしたところ、盛り付けが素晴らしいー綺麗だー！「いつもと違うものが食べられて良かった。もっと食べたい。」シャーベット、アイス



ムースがおいしかった。」と、嬉しい感想が聞かれました。
今後、皆さんの喜びの聲が聞かれるような企画をしていきたいと思います。

あづみ野祭り

7月27日に第40回あづみ野祭り(主催あづみ野祭り実行委員会)が開催されました。

この祭りは毎年、安曇野市豊科地域で行われ、メインイベントのあづみ野ばやし踊りはJR豊科駅前の国道147号線を中心に繰り広げられます。踊り連は地元自治会、小学校のクラス、企業等で構成され、今年は42連、約3千300人が参加し、当院からは老人保健施設安曇野メディアとの合同連で、34名が参加しました。

はつぴ姿に、たすきを巻いていざ出陣！曇り空の



下、様々な衣装、山車、出店が豊科の街を彩ります。しかし、踊りが中盤に差し掛かる頃、ポツポツと雨が降ってきたかと思えば、あつという間にどしゃ降りの雨に見舞われました。そして、お祭りは途中で幕を閉じ、今年は思いがけない終わり方となりました。

今後、当院は地域のお祭りやイベントに積極的に参加していきたいと思います。

関連施設だより

アルプスホーム小旅行

～上越の旅～

自立訓練(生活訓練)事業所アルプスホームでは、プログラム活動の一環として季節毎にレクリエーション行事を企画しています。この企画は、利用者さんの相互交流及びコミュニケーションの充実を図り、日常生活にない風景や環境を体験することにより、今後の余暇や生活の中での楽しみを見つけて頂くことを目的としています。行事内容や旅先での予定は事前に利用者さんにアンケートを取り、そのご意見をもとに職員が計画をしています。

今年は6月18日、新潟県上越市の上越市立水族館博物館「うみがたり」へ出かけました。例年の行事では県内旅行が多いのですが、今回は県外への外出ということでも多くの利用者さんが楽しみにされていました。一方で、遠出となると心配になるのはトイレ休憩です。トイレを心配される利用者さんのため、道中での休憩の回数を増やした車両も用意しました。

行程は朝9時にアルプスホームを出発。高速道路に乗ってPAでの途中休憩を挟みながら上越市へと向かいました。道中は歌われる方、旅先の話題に花を咲かせる方など、賑やかな車内でした。水族館到着後、グループに分かれて普段は間近で見られない珍しい魚やイルカショーを観て回りました。マンボウを見つけ職員に写真撮影を依頼される方、魚を見ると「美味しそう!」と冗談っぽく話される方など、皆さん和気あいあいと楽しまれていました。また国内5か所の水族館でしか観賞できないシロイルカにも会え、ひたすら写真を撮る利用者さんもうつしかったです。帰りにはお土産コーナーに立ち寄り、家族や友達へのお土産選び、自分へのプレゼント購入など、皆さんそれぞれに楽しまれていました。

昼食は水族館近隣のお食事処でお楽しみのお刺身の他、魚の揚げ物や煮魚もあり、美味し

く頂きました。

旅行を終え、皆さんから楽しかった。行つて良かった。「時間が足りなかった。」との感想をいただくことができ、改めて良い旅行だったと感じられる初夏の一日となりました。



グループホーム春の小旅行

善光寺・松代の旅

5月28日、グループホーム第一飛鳥荘と第二飛鳥荘の入居者の皆さんが、善光寺と松代へ合同小旅行に出かけられました。この旅行は、各荘に入居されているメンバーさんが輪番

で幹事となり、企画運営される恒例行事です。

安曇野を出発し、国道19号を道の駅に寄りな

ひんがしの さんじやうじ

がら長野へ。善光寺では、寶頭盧尊者像（自分の患部と同じところを撫でると病気が治るという尊者像）を撫でたり、戒壇めぐりをされたり、参道で買いい物をされたりと、自由に散策。平日でも善光寺は参拝客が多く、さすが県内屈指の観光地でした。

善光寺参道の蕎麦屋で昼食を済ませ、松代へ。まずは日本百名城に選定されている松代城（海津城）を散策。現在、本丸の太鼓門と北不明門などが整備、復元されており、写真の通り見応えがあります。最後は松代大本営地下壕（現気象庁松代地震観測所）に行き、天皇御座所予定地を窓越しに見

学しました。松代は見処が種々あり、散策しきれなかったため、帰路の高速道路ではまた松代に行こう!との声もあがっていました。



松代城（海津城）

県内であっても、日常と違う地に行くことで、気分も一新、リフレッシュされたのではないのでしょうか。

院内不在者投票 の活用を

7月21日、参議院議員通常選挙が行われましたが、当院では、7月18日に院内にて同選挙の不在者投票が行われ、大勢の方が投票されました。入院医療機関や入所施設は、外出が困難な方々に対して、機関内で不在者投票を行うことが認められています。なお、外来通院されている方が、院内での期日前投票を希望される場合がありますが、あくまでも入院患者さんを対象とした不在者投票ですので、外来の方は院内の投票所はご利用できません。

さて、その選挙事務ですが、不在者投票の研修を受けた院内の職員が適正に投票業務を行い、投票用紙は厳正に各市町村の選挙管理委員会へ提出されます。

当院では種々の選挙の度に適宜投票のお声掛けをしておりますので、入院患者さんには今後も不在者投票をご活用いただきたいと思います。

外来 医師担当表

令和元年 9月 1日現在

曜日	月	火	水	木	金	土
内科	いわさ たけひこ 岩浅 武彦 医師	休 診	休 診	しみず ともこ 清水 智子 医師	休 診	休 診
精神科 ①	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	にしざと よしあき 西里 吉昭 医師	ごみぶち みつのり 五味洸 満徳 医師	おかざき たかし 岡崎 隆司 医師	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	ごみぶち みつのり 五味洸 満徳 医師
精神科 ②	いわもと よしき 岩本 芳樹 医師	いわもと よしき 岩本 芳樹 医師				

◎ 受付時間 午前 7:00～正午

◎ 診療時間 午前 9:00～終了まで ※木曜日の精神科は、午前9:30～診療開始

※ 午後は全科休診となります。

※ 日曜・祝日は全科休診となります。

※ご不明な点等は、受付へご確認下さい。
お問い合わせ先 電話 0263-72-8400

～ 編集後記 ～

みなさんは「ラグビー」をご覧になったことはありますか？

いよいよ9月20日より、ラグビーのワールドカップが日本で開催されます。個人的には非常に楽しみにしているのですが…。サッカーや野球に比べ、正直あまり人気が多く、ルールを知らない方も多いと思います。しかし、ラグビーをあまり知らなくても、独特のポーズを決めてからキックをする「五郎丸」選手を覚えている方は多いのではないのでしょうか。「奇跡」とも言える、強豪国「南アフリカ」から劇的な逆転勝利をもぎとった日本代表の一員で、一時人気となりました。世界の強豪と試合でぶつかり合う様子は、ルールを知らなくても迫力が伝わるといいます。初の自国開催です。ためしに一度観戦してみたいはいかがでしょうか。

※表題「雪がた」について

春から夏にかけて北アルプスでは様々な雪形が見られ、当院からは常念岳の常念坊や、蝶ヶ岳の蝶などの雪形を正面に望むことが出来ます。雪形が季節の変化に合わせて融けるように、患者様の病も融ける・・・表題にはそんな願いが込められています。また、表題の写真は当院屋上から撮影しました。